

## 再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（視距改良事業）				
地区名	一般県道 <small>つくでせんぶおおぬま</small> 作手善夫大沼線				
事業箇所	愛知県 <small>とよた おおぬま</small> 豊田市大沼町				
事業のあらまし	<p>一般県道<small>つくでせんぶおおぬま</small>作手善夫大沼線は、<small>みかわ</small>三河山間地域を東西に結ぶ幹線道路である。</p> <p>このうち当該工区は、地形が急峻で見通しが悪く、急カーブが連続するため円滑な通行の妨げとなっており、歩行者を含めた交通安全の面で課題となっている。</p> <p>このため、近隣住民から一般交通の安全確保が強く望まれており、事故を未然に防ぐため、早急に視距の改良を行うものである。</p>				
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b> 視距を確保し、交通安全性の向上を図る。</p> <p><b>【副次目標】</b> —</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (2014)	再評価時 (2019)	変動要因の分析	
	事業期間	2014年度 ～2018年度	2014年度 ～2023年度	地元調整に時間を要したため	
	事業費（億円）	3.0	3.2	下記による	
	経費内訳	工事費	2.5	3.0	工事費の精査
		用補費	0.3	0.1	用補費の精査
その他		0.2	0.1	その他の精査	
事業内容	視距改良 延長 L=0.3km 幅員 W=7.0m 2車線	視距改良 延長 L=0.3km 幅員 W=7.0m 2車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p><b>【事前評価時の状況】</b> 急カーブが連続し対向車が非常に見づらいため、必要な視距が確保されていない。</p> <p><b>【再評価時の状況】</b> 依然として、急カーブが連続し必要な視距が確保されていないため、事業の必要性は高い。</p> <p><b>【変動要因の分析】</b> 事業採択時と現在の状況に変動要因はなく、引き続き整備の必要性がある。</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		
		<p><b>【理由】</b> 地域間交流や山間部の生活を支えるため、依然として事業の必要性が高いため。</p>			

1) 進捗状況

【事業計画及び実績】

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
工 種 区 分	調査・設計	←→										
	用地補償	←	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
	工事						←	→	→	→	→	
事業費 (億円)	前回計画	3.0										3.0
	実績	0.1										0.1
	今回計画	0.1					3.1					3.2

【進捗率】

	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況	
	計画【①】	実績【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画【③】	進捗率(%) 【②÷③】
延長(km)	0.3	0.0	0	0.0	0
事業費(億円)	3.0	0.1	3	3.2	3
工事費	2.5	0.0	0	3.0	0
用補費	0.3	0.1	33	0.1	100
その他	0.2	0.0	0	0.1	50

※用地進捗率(面積ベース)は、約100%

2) 未着手又は長期化の理由

・用地補償や交通規制等の地元調整に日時を要したため。

3) 今後の事業進捗の見込み

【阻害要因】

・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。

【今後の見込み】

・2023年度までに整備が完了する予定である。

判定

B

- A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。
- B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）
  - ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
  - ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
  - これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
- C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。

【理由】

・これまで地元調整により事業が長期化したが、2023年度までに整備完了が見込まれるため。

Ⅲ 対応方針(案)

継続

中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。  
継続：上記以外のもの。

#### IV 再評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後 年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

- ・視距確保による交通安全性の向上状況。